



野球がまちなかに溢れる20日間

球都桐生 ウィーク

2024
8.22^木 - 9.10^火

球都桐生の日



球都桐生ウィーク2024開催にあたり

～ 野球が盛んなまち、桐生。野球を活用した地域活性プロジェクト ～

野球が盛んな都市の総称として使われる『球都（きゅうと）』。日本で4か所あると言われる「球都」のうちのひとつが群馬県桐生市です。桐生市では2022年度から、地域の大切な資源でもある『野球』を活用し、地域活性を目指す『球都桐生プロジェクト』を公民連携で進めております。

2022年度に「球都桐生の日(9/10)制定」、2023年度には「東京六大学野球オールスターゲーム2023in桐生」を関東初開催し、小倉クラッチ・スタジアムに5,039人を動員しました。また2023年WBC優勝監督の栗山英樹氏によるシンポジウムも開催するなど、野球を起点とした様々なイベントや事業を行なってきました。

2024年度も、以下ご案内の【球都桐生ウィーク2024】をはじめ、イベントやスポーツ環境整備など様々な地域活性の取り組みを行ってまいります。

本プロジェクトは、野球だけでなく、様々なスポーツや競技の活性化、市民の皆様の健康増進機会の創出にも繋げて参ります。ぜひ奮ってイベントにご参加いただき、本プロジェクトの仲間として一緒に桐生を盛り上げていただきますようお願いいたします。



川淵三郎



本橋麻里



早稲田大学野球部提供



小島よしお

8.22
(木)

メダリストへのインタビューを行う中村氏の目から見た、**パリオリンピックのあのシーン**を『スポーツマンシップ』『共育』の切り口で振り返る。

▽ お申込みはこちらから ▽



< 日時 >

8月22日（木）開場 17:30 / 開演 18:00 / 終演 20:00予定

< 場所／参加費 >

美喜仁文化会館 小ホール / **無料**

< 登壇者／テーマ >

中村 聡宏（一般社団法人日本スポーツマンシップ協会）

～ **スポーツを通じた「共育」的思考で人を育むまちづくり** ～

< 概要・講師紹介 >

一般社団法人日本スポーツマンシップ協会代表理事、立教大学スポーツウエルネス学部准教授。

日本オリンピック委員会（JOC）の広報誌「OLYMPIAN（オリンピック）」のインタビュアー、ライターも務め、仏オリンピックでもメダリストへのインタビューを実施。トップ選手の見えている景色を言語化する中村氏がタイムリーなこのタイミングでスポーツマンシップの本質に迫ります。

「スポーツマンシップが入っているまち、桐生」へ必要なものとは何か？ 皆さんと一緒に考えていきます。



一般社団法人日本スポーツマンシップ協会代表理事 中村聡宏

球都桐生ウィークシンポジウム2024 ～ スポーツを活用したまちづくりを考える ～

9.9
(月)

Jリーグ、Bリーグの生みの親、初代チェアマン **川淵三郎 氏**、日本カーリング
史上初の銅メダル、冬季五輪史上初のママさんメダリスト**本橋麻里 氏**が来桐！
スポーツ界をけん引する2人が語る地域スポーツとまちづくりとは？

▽ お申込みはこちらから ▽



< 日時・概要 >

9月9日 (月) 開場：17:30 / 講演時間：18:30～20:30 (休憩あり)

一部：基調講演・・・テーマ「**夢があるから強くなる**」

川淵三郎 (公益財団法人日本サッカー協会相談役)

二部：シンポジウム・・・テーマ「**スポーツを活用したまちづくりを考える**」

川淵三郎 (公益財団法人日本サッカー協会相談役)、本橋麻里 (一般社団法人ロコ・ソラーレ代表理事)

荒木恵司 (桐生市長)、中村聡宏 (モデレーター／一般社団法人日本スポーツマンシップ協会代表理事)



川淵 三郎



本橋 麻里

< 場所／参加費 >

美喜仁桐生文化会館 シルクホール / **無料**

▽ お申込みはこちらから ▽



スマホでのお申し込みができない場合、
団体でのお申し込みを希望される場合は
下記事務局までお電話ください

< 定員 >

1,500名 ※申し込み多数の場合は抽選



荒木 恵司桐生市長



中村聡宏 (モデレーター)

▽ お問合せ先 ▽

球都桐生プロジェクト／球都桐生ウィーク運営事務局

株式会社ノッティングヒル

TEL：0277-32-4032（平日10:00～18:00）

E-Mail：info@notting-hill.jp

群馬県桐生市本町2丁目8-26 YANO SQUARE 2F